

## 日 誌 (昭和50年2月)

## 【国 内】

- 4日 ○政府、中小企業向け官公需の49年度契約目標率を28.7%から30%に引き上げることを閣議了解
- 12日 ○政府、昭和50年度地方財政計画を閣議了承(「要録」参照)
- 14日 ○政府、中小企業向け融資の円滑化、公共事業等の契約枠の消化促進などを骨子とした「当面講ずべき対策」を決定(「要録」参照)

- 18日 ○全国銀行協会連合会、「歩積・両建預金の自粛の徹底について」の申合わせを各地銀行協会等に通知(「要録」参照)
- 22日 ○大蔵省、各金融団体代表者等に対し、歩積・両建預金の自粛の徹底を図るよう通達
- 24日 ○環境庁、自動車排気ガス51年度規制を告示

## 【海 外】

- 1日 ○パキスタン、消費財22品目の関税引上げを実施
- 3日 ○フォード米大統領、予算教書を議会に提出  
○マレーシア、預貸金金利等を引下げ
- 4日 ○米国連邦準備制度理事会、ボストン、ニューヨーク等9連銀の公定歩合引下げ(7.25→6.75%)を承認した旨発表(5日実施、その後シカゴ連銀が6日、セントルイス、カンサスシティー両連銀が7日、同様の引下げを実施)  
○フォード米大統領、経済報告を議会に提出
- 6日 ○ブンデスバンク、公定歩合の第3次引下げを決定(6.0→5.5%、7日から実施)  
○ベルギー銀行協会、定期預金金利等の引下げを決定(1年物定期は17日から、その他は10日からそれぞれ実施)
- 7日 ○英蘭銀行の最低貸出歩合低下(11.0→10.75%)
- 12日 ○イタリア銀行協会、預金金利の引上げを決定(3月1日から実施)  
○イラン、リアルのSDRリンク制を採用
- 13日 ○EC農相理事会、1975/76農業年度の農産物価格等を決定  
○デンマーク、社会民主党による少数与党内閣成立
- 14日 ○英蘭銀行の最低貸出歩合低下(10.75→10.5%)

- アイスランド、クローナを20%切下げ
- 15日 ○シンガポール、預貸金金利を引下げ
- 17日 ○EC中央銀行専門家グループ、金決済問題等に関し提言
- 19日 ○香港、預貸金金利を引下げ(22日再引下げ)
- 20日 ○フォード米大統領、国庫債務限度額の引上げに関する法案に署名(4,950→5,310億ドル、期限は6月30日まで)  
○イタリア、景気振興策を決定  
○ポルトガル、経済・社会3ヵ年計画を発表
- 23日 ○フランス、イランとの間に濃縮ウラン供給に関する協定を締結
- 25日 ○フランス政府、社会福祉、農業対策等の財政措置を発表
- 27日 ○フランス、公定歩合の引下げを決定(12.0→11.0%、即日実施)
- 28日 ○カナダ銀行、第2線準備率の引下げを発表(6.0→5.5%、3月以降実施)  
○EC、発展途上(ACP地域)46か国との連合協定を締結  
○スイス、公定歩合の引下げを決定(5.5→5.0%、3月3日から実施)